

令和 8 (2026) 年度
日本大学医学部附属板橋病院

看護師特定行為研修
募 集 要 項



1. 看護師特定行為研修制度について

特定行為研修は、看護師が手順書により特定行為を行う場合に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技術の向上を図るための研修です。当院では共通科目に加え、2 区分 4 行為の研修を行います。

2. 日本大学医学部附属板橋病院看護師特定行為研修の教育理念

当院は、「人間愛に基づいて良質で高度な医療を実践します」を理念として掲げており、大学病院としての「診療・教育・研究」の役割を通じて社会に貢献することを使命としています。

看護部では、この理念を基盤に「人間味あふれる看護の実践～JHOS ナーシング～」を掲げています。看護師が専門職として自信(J)と誇り(H)を持ち、思いやり(O)のある看護を実践することで、患者さんとの信頼関係(S)を深めることを目指しています。

本研修では、これらの理念に基づき、高度な知識・技術および臨床判断能力を備え、組織のニーズに応じて実践できる看護専門職を育成します。さらに、多職種と連携しながら質の高い医療の提供に貢献し、リソースナースとして主体的に役割を発揮できる人材の育成を目指します。

3. 日本大学医学部附属板橋病院における看護師特定行為研修の目的

高度急性期医療の現場において、特定行為の実践に必要な専門的知識および技術を修得し、医療の質向上に資する適時適切な医療の提供ができる看護師を育成します。

また、チーム医療を推進し、多職種と連携しながら主体的に役割を発揮できる、実践力のある看護専門職の育成を目的とします。

4. 看護師特定行為研修の教育目標

- 1) 高度急性期医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、患者の状態を的確に判断できる能力を養う。
- 2) 当該特定行為を実践する上での知識、技術及び態度について基礎的能力を養う。
- 3) 高度急性期医療の現場において、必要な特定行為を、患者の安心や安楽に配慮しつつ、安全に実践できる基礎的能力を養う。
- 4) 看護師が特定行為を行う意義と役割を考え、高度医療現場において、問題解決に向けて多職種と効果的に協働できる能力を養う。

5. 研修概要

1) 研修内容と時間数

- ① 共通科目(必修科目):特定行為区分別に共通して必要とされる能力を身につけるための科目
 - e-ラーニングによる講義は自宅または日本大学医学部附属板橋病院(以下当院)特定行為研修講義室での視聴が可能です。
 - 演習・実習等は集合またはWEB形式(Zoom)で実施します。

科 目	時 間 数			
	講義	演習	実習	合計
臨床病態生理学	30	2	—	32
臨床推論	32	10	3	45
フィジカルアセスメント	30	2	13	45
臨床薬理学	42.5	3		45.5
疾病・臨床病態概論	34.5	6		40.5
医療安全学/特定行為実践	19	18	8	45
合 計	188	41	24	253

(研修期間:6 か月)

- ② 区分別科目(必修科目):各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目
 ＊本コースは2区分を受講するコースになります。

特 定 行 為 区 分	時 間 数			
	講義	演習	実習	合計
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連				
高カロリー輸液	4.5	—	5	9.5
脱水	4	—	5	9
創傷管理関連				
壊死組織の除去	14	1.5	5	20.5
陰圧閉鎖療法	8	1.5	5	14.5
合 計	30.5	3	20	53.5

(研修期間:3 か月)

- ③ 臨地実習(概ね3か月程度)

当院にて各行為5事例の症例介入を行い、レポートを提出します。

臨地実習終了後症例報告会があります。

2) 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たす必要があります。

- ① 共通科目をすべて履修し、筆記試験及び観察評価等に合格すること。
- ② 共通科目修了後、区分科目を履修し、筆記試験及び観察評価、実技試験に合格すること。

＊ なお、本研修修了者には、研修の修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

3) 時間・場所

- ① e-ラーニングは、自宅または当院特定行為研修講義室での受講が可能ですが、演習・実習開始までに全ての視聴、および小テストを終了する必要があります。

- ② 当院で実施する講義・演習・実習・試験等の時間割は当院で定めます。
- ③ 原則、平日開講です。
- ④ 集合教育（講義・演習・実習・試験等）は全て当院で行います。

6. 定員

5 名程度

7. 研修期間

- 1) 研修期間：2026 年 10 月 1 日(木)～2027 年 9 月 30 日(木) 1 年
(共通科目を修了後に区分別科目の受講を開始します。)

＊ 所定の期間内に修了要件を満たさなかった場合、最大 1 年間延長することが出来ますが、修了できなかった行為分の追加料金がかかります。

8. 研修受講資格

次の各号に定める要件をすべて満たしていることが必要です。

- 1) 看護師免許を有すること。
- 2) 看護師免許の取得後、通算 5 年以上の看護実務経験を有し、日本看護協会におけるラダーⅣ以上相当の者であること。
- 3) 所属施設長又は所属長の推薦を有すること。
- 4) 所属施設において、特定行為の役割が期待されている者であること。
- 5) 研修修了に必要な出席日数および学習時間を確保できる者であること。

9. 出願手続きに関すること

- 1) 出願期間:2026 年 6 月 8 日(月)～2026 年 ~~7 月 10 日(金)~~ 必着

8 月 31 日(月)まで延長しました。

- 2) 提出書類

必要書類は受講希望者へメールにて送信します。(提出された書類は返却いたしません。)

- ① 願書(様式 1)
- ② 履歴書(様式 2)
- ③ 志願理由書(様式 3)
- ④ 推薦書(様式 4)
- ⑤ 看護師免許(写)

- 3) 提出先

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30 番 1 号

日本大学医学部附属板橋病院 特定行為研修管理委員会 庶務課 三浦 宛

＊ 『特定行為研修出願書類在中』と封書に記載する

10. 選考方法

書類審査及び面接試験により行います。

1) 面接試験日時:調整してご連絡いたします。

2) 面接試験場所 日本大学医学部附属板橋病院

* 面接試験会場の詳細については決定次第ご本人へお知らせいたします。

* 選考結果については, 決定次第ご本人へ連絡いたします。

* なお, 電話, FAX, メール等による可否のお問い合わせの対応はいたしません。

11. 研修受講手続きと受講料について

受講予定者に受講案内手続きについての詳細をご案内します。なお, 受講手続き期間及び受講料については下記のとおりです。受講料(消費税込)は, 受講手続き期間内に, メールにて送付する振込依頼書に基づき, 振込みをお願いします。

1) 受講手続き期間:2026 年 9 月 1 日(火)~2026 年 9 月 14 日(月)

2) 受講料(消費税込) 合計額 550,000 円 (税込み)

* 2 区分あわせての金額となります。

* 受講料は合計額を一括でお支払いください。

* 納めた受講料は原則として返還しません。

* 研修のための宿泊及び交通費等は各自にて実費負担となります。

* 振込手数料のご負担をお願いします。

12. 研修受講生の今後の日程(目安)

2026 年 10 月 1 日(木)	オリエンテーション・入講式
2026 年 10 月 1 日(木)	共通科目受講開始
2027 年 3 月下旬	共通科目修了判定
2027 年 4 月 1 日(木)	区分別科目受講開始
2027 年 6 月下旬~12 週間	特定行為実習
2027 年 9 月下旬	区分別科目修了判定・修了式

1) 共通科目受講期間は, 当院看護師特定行為研修講義室にて 1~5 日/週程度の研修・実習を予定としています。

2) 共通科目および区分別科目の受講は e-ラーニングを主としています。e-ラーニングの受講に 15 時間/週程度の学習時間を要します。

3) 上記の研修・実習に加え, 共通科目研修期間に連続した 1~2 週間程度の演習・実習を予定しています。

4) 区分別科目における特定行為研修は, 当院外来及び病棟での実習を予定しています。実習期間は 12 週間程度を予定していますが, この実習期間内に必要な症例数の経験が満たされなかった場合は, 追加実習となります。

5) 受講時の勤務扱いについては当院の規定に準じます。詳細は後日提示いたします。

13. 個人情報の取り扱いについて

日本大学医学部附属板橋病院では日本大学における「個人情報の取扱いに関するガイドライン」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施・合格発表・受講手続き・履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

14. お問い合わせ先

受付時間：平日 9 時～16 時

日本大学医学部附属板橋病院 特定行為研修管理委員会

電話：03-3972-8111（代）（内線 3912）庶務課担当者

E-mail: med.tokutei-kensyu@nihon-u.ac.jp